



消防団たずね歩き

あの時、消防団員であれば…

東灘消防団は、西は灘区、東は芦屋市、北には六甲山、南を沿岸部に囲まれた地域を所管としており、私が所属する住吉第2分団は東灘区の西寄り、沿岸部には工場や港湾施設、鉄道沿線には商業施設と住宅地を擁する南北に細長い区域を管轄としています。

●消防団の重要性

私がここ住吉に引っ越してから8年目、ある消防団員の方から声を掛けられたのが、私と消防団との初めての出会いでした。

はじめは、神戸の街中で消防団？ 消防団は山間部や消防署から遠隔地にしか無いと思っていました。しかし、街中では街中の必要性があり、震災時は長期間、消防団詰所に寝泊りをして消火や救助活動をおこなった苦労話を聞き、火災発生時には、消防署の消火活動が円滑におこなわれるよう協力し、台風接近時などは管轄の警備を強化するなど、改めて消防団の重要性を知りました。

また、中学生に対する心肺蘇生などの救急講習や防災福祉コミュニティ訓練での指導を通じて、学校や地域と連携した活動に努めています。

●あの時、悔やまれること

23年前の震災時、灘区で両親と同居していた自宅は半壊でしたが、幸い身内にはけが

人もなく、近隣にも亡くなった方や火災は発生しませんでした。しかし当時は自分のこと以外、特別何もしていなかったことが今となれば悔やまれます。もしあの時、消防団に入団していれば、もっと被災した方々へ支援ができていたかもと後悔します。

台風や豪雨による自然災害、沿岸部では発生が危惧される南海トラフ巨大地震での大津波。私が消防団に入団した理由は、次にまた発生する災害（来ない方がもちろんいいですが）に前回何もできなかったぶんも、人を助けたい、地域のために協力したいとの思いからであります。

現在、私を消防団へと誘っていただいた方は、すでに退団されていますが、今後は、その意思を引き継ぎ、後進の指導、技術習得及び新しい人材発掘に力を注ぎ、地域防災力の向上を目指していきたいと考えています。



(東灘消防団 住吉第2分団
班長 柴田 靖)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

